



薩摩川内市立水引中学校「学校だより」

みずひき

〒899-1921 鹿児島県薩摩川内市水引町7602番地1

TEL:0996-26-2104 FAX:0996-26-3908

6月号

令和6年6月17日発行



水引中ホームページ・ブログの QR コード↑

自己肯定感を支える「アイ・メッセージ」

校長 日高 正人

地区総体は、県大会出場組と水泳競技を残すのみとなり、3年生には悔いの残らない充実した大会になりました。結果は、それぞれ思うところがあったかと思いますが、生徒の表情は、やりきった充足感が表情に表れていたように思います。

さて、次はいよいよ3年生にとっては、進路選択に向けて気持ちを切り替えていくこととなります。先日、ハローワーク(3年のみ)や公立、私立の高校から講師を招いて上級学校説明会がありました。保護者も参加して、ブース形式で話を聞くことができる会でしたので、2、3年生は、自分の興味のある仕事や学校について学ぶことができました。1年生の中には、有名高校の講師が来校したこともあり話を聞きたがるなど、生徒全員が身近に進路を感じた説明会だったと思います。かつて、落ち着きがないと言われた生徒たちを見た保護者の方から、「生徒たちがとても落ち着いている。」とお褒めの言葉をいただき、その成長にとてうれしい気持ちでいっぱいになりました。

本校は、「自他を肯定し、共に高め合う心豊かな人間性の育成」を教育目標として、褒めて育てる取組をしてきました。生徒が自信を持ち、周囲に認められたと感じることで、自己肯定感を高めると考えたからです。否定される生活から肯定される生活へ、少しずつ変わってきたことが、先ほどの子供たちの変化へとつながったと思っています。そして、他者をも肯定する環境ができる人間関係が形成されたことで、間違いを恐れず、自分の意見を言い合える、学び合いのできる態勢が整ってきたと感じています。これは、子供たちが安心して学習に臨める学力向上のための土台ができたことを意味しています。このことでMIZU パーサルデザイン(授業のユニバーサルデザイン化)の効力が発揮され、今後の子供たちの更なる成長に期待しているところです。これには、自己肯定感と他者を許容する環境が整うことが、大切なのですが、この自己肯定感は、絶え間ない、肯定的な言葉掛けにより、周囲から受け入れられ、認められているという感覚を持ち続けなければ、崩れてしまいます。そのためにも、子供に共感し、認められていると感じることができる、「褒め言葉」を思春期の生徒たちに届くように「アイ・メッセージ」(以下 **I. M**)を活用する必要があります。



I. Mとは、米国心理学者トマス・ゴードンが提唱したコミュニケーションの技法で、「私」を主語にした表現のことです。これを活用すると、相手が構えることなく、要求や考えが伝わりやすくなります。つまり、相手の反感をかい、言い返されたり抵抗されたりする可能性が低くなるということです。「あなた」を主語にしたユーメッセージと比較して、相手に対する非難や責めている印象を与

Iメッセージを活用できる場面

- ・ 職場で部下の失敗を指摘するとき
- ・ 職場で同僚にお願いしたいことがあるとき
- ・ 家族にして欲しいことを伝えるとき

えにくく、**I. M**を使うことで、肯定的な人間関係を良好に保てます。これを基本に、褒め言葉を織り交ぜると効力は上がります。会話の中で、相手(子供)が求めている、寄り添ってほしい、安心できる言葉を

やりとりするうちに、子供や相手が求める言葉が当たると、どんな人も表情が変わります。

こうすることで、子供や相手が何を求めているかを理解し、お互いに信頼を深めることができるのです。下の表のように変換を円滑に行えるよう日頃の会話から練習をすると1か月ほどで会話の中で自然と使えるようになります。そして、相手(子供)の自己肯定感は高まり、

You message	I message
教科書を出しっぱなしにしないでね。	教科書をもとの位置に戻す習慣をつけてくれると(私は)安心できるわ。
何回言ったら覚えるの。	今後仕事(勉強・作業)に取り組む上で重要なポイントなので、覚えるようにしようね。
何で、いつも作業(準備)が遅いの。	君の仕事(準備)がいつも丁寧だから、安心して仕事(準備)を任せられる。

前向きな関係が形成されるのです。今からでも、子育てや家族関係を肯定的にするため **I. M**に取り組んでみませんか。

地区陸上

5月16日（木）に行われた地区陸上に水引中学校から9人の生徒が参加しました。暑い中、どの生徒も全力を尽くし大健闘しました。

次の生徒が入賞を果たしました。

砲丸投げ	2位	内山小春さん	県大会出場
共通 走高跳	5位	田島幸明さん	
共通 走幅跳	8位	田島幸明さん	
1年 100M 走	5位	下山果穂さん	
	6位	野間口理心さん	

なお、可愛アスリートから出場した西菌翔太さんは100m走で1位（大会新記録）、乙須一葵さんは1500m走で1位となり、県大会出場を決めています。

県大会での更なる活躍を期待しています。



地区総体

6月4日（火）～5日（水）に、地区総体が行われました。ソフトテニス部、女子バレーボール部が出場しました。悔いの残らないベストを尽くした試合をすることができたことだと思います。最後までよく頑張りました。

〈ソフトテニス部 個人戦〉

（男子）

時吉・野間口ペア 3位 県大会出場

石牟禮・中島ペア、花田・山本ペア ベスト16

（女子）

橋口・餅井ペア、下山・野間口ペア 1回戦惜敗

桐原・野間口ペア 1回戦勝利（オープン参加のため1回戦のみ出場）

※人数の関係で、野間口さんは2回出場しています。

〈ソフトテニス部 団体戦〉

（男子） 3位 （女子） 予選リーグ惜敗

〈女子バレーボール部〉

（予選リーグ）

水引中2－0川内南中・樋脇中

水引中0－2宮之城中

（決勝トーナメント 準々決勝）

水引中0－2東郷中

バレーボールのクラブチーム（ルピナス）で参加した小濱田彩さんは、3位に入り、県大会出場を決めています。

校内弁論大会

5月28日（火）、校内弁論大会がありました。学習部が中心となり弁論大会を進めていました。多岐に渡るテーマで、興味を引く発表ばかりでした。発表する態度も堂々としており、充実した質の高い弁論大会となりました。



PTA バレー

6月8日（土）水引小学校体育館で、PTAバレーが行われました。どのチームも一致団結しており、親睦を深めるよい機会となりました。参加してくださった保護者の皆様、企画運営や準備・片付けにご協力してくださった皆様、ありがとうございました。審判等を手伝ってくれた中学生の皆さんもありがとう！とても助かりました。

夜は、慰労会もあり、バレーボールや小中合同運動会の思い出を振り返ることができました。

1位：小学5年生保護者 2位：小学3年生保護者
3位：中学2年生保護者 4位：中学3年生保護者



日	曜	7月の行事予定
5	金	情報モラル教室 漢検
6	土	唐浜清掃
7	日	英検2次
8	月	選挙管理委員決め
11	木	授業参観 学期末学級PTA 学校保健委員会 学校運営協議会
13	土	土曜授業
16	火	性に関する授業
19	金	終業式 大掃除
20	土	県総体（～29日）
23	火	三者面談（3年）教育相談（1・2年）（～30日）